

# 温泉分析書

(鉱泉分析試験法による分析)

1. 申請者 住所 長野県北安曇野白馬村北城5713  
氏名 八方尾根開発 株式会社 代表取締役 倉田 保緒
2. 源泉名及び湧出地 源泉名 白馬八方温泉第1号、3号の混合泉  
湧出地 別紙に記載のとおり  
採水地 白馬村北城9346-1 (おびなたの湯分岐採取口にて採水)
3. 湧出地における調査及び試験成績  
(1) 調査及び試験者 一般社団法人 長野県薬剤師会 検査課 主任研究員 小林 健一郎  
(2) 調査及び試験年月日 平成 31年 3月 12日  
(3) 泉温 48.1 °C (調査時における気温 6 °C)  
(4) 湧出量 L/分 (未測定、混合泉のため)  
(5) 知覚的試験 ほとんど無色澄明、微硫黄味を有す。  
(6) 水素イオン濃度 pH 11.4  
(7) ラドン(Rn) 未測定
4. 試験室における試験成績  
(1) 試験者 一般社団法人 長野県薬剤師会 検査課 主任研究員 小林 健一郎  
(2) 分析終了年月日 平成 31年 4月 3日  
(3) 知覚的試験 ほとんど無色澄明、微硫黄味を有す。  
(4) 密度 1.0001 (20°Cにおいて) 0.9983 (20°C/4°C)  
(5) 水素イオン濃度 pH 11.39 (電気伝導率: 0.0558 s/m(25°C))  
(6) 蒸発残留物 155 mg/kg (乾燥温度 110 °C)
5. 泉質 アルカリ性単純温泉  
(低張性アルカリ性高温泉)
6. 療養泉分類の泉質に基づく浴用の禁忌症、適応症等は次のとおりである。
- (1) 浴用の禁忌症  
① 一般的禁忌症 病気の活動期 (特に熱のあるとき)、活動性の結核、進行した悪性腫瘍又は高度の貧血など身体衰弱の著しい場合、少し動く息苦しくなるような重い心臓又は肺の病気、むくみのあるような思い腎臓の病気、消化管出血、目に見える出血があるとき、慢性の病気の急性憎悪期
- ② 泉質別禁忌症 \_\_\_\_\_
- (2) 浴用の適応症  
① 一般的適応症 筋肉若しくは関節の慢性的な痛み又はこわばり (関節リウマチ、変形性関節症、腰痛症、神経痛、五十肩、打撲、捻挫などの慢性期)、運動麻痺における筋肉のこわばり、冷え症、末梢循環障害、胃腸機能の低下 (胃がもたれる、腸にガスがたまるなど)、軽症高血圧、耐糖能異常 (糖尿病)、軽い高コレステロール血症、軽い喘息又は肺気腫、痔の痛み、自律神経不安定症、ストレスによる諸症状 (睡眠障害、うつ状態など)、病後回復期、疲労回復、健康増進
- ② 泉質別適応症 自立神経不安定症、うつ状態、不眠症

※温泉療養を行うにあたっては、以下の点を理解して行う必要がある。

- ① 温泉療養の効用は、温泉の含有成分などの化学的因子、温熱その他の物理的因子、温泉地の地勢及び気候、利用者の生活リズムの変化その他諸般によって起こる総合作用による心理反応などを含む生体反応であること。
- ② 温泉療養は、特定の病気を治療させるよりも、療養を行う人の持つ症状、苦痛を軽減し、健康の回復、増進を図ることで全体的改善効用を得ることを目的とすること。
- ③ 温泉療養は短期間でも精神的なリフレッシュなど相応の効用が得られるが、十分な効用を得るためには通常2~3週間の療養期間を相当とすること。
- ④ 適応症でも、その病期又は療養を行う人の状態によっては悪化する場合があるので、温泉療養は専門的知識を有する医師による薬物、運動と休養、睡眠、食事などを含む指示、指導のもとに行うことが望ましいこと。

平成 31 年 4 月 3 日  
長野県松本市旭2丁目10番15号  
一般社団法人 長野県薬剤師会 会長 日野 寛明  
[ 分析機関登録番号 長野県第2号 ]

白馬山麓に湧く、高アルカリの天然水素温泉

# 白馬八方温泉